

# まつど議会だより

発行/松戸市議会  
編集/広報委員会  
千葉県松戸市根本387-5  
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



## 「中高生の居場所」がオープンしました!



「中高生の居場所」とは、中高生が学校や家庭以外で1人でも友達とでも無料で自由に過ごせる場所です。開催日時は開催場所により異なるため、下記問い合わせ先または右のQRコードから確認してください。  
※写真は松戸地区（文化ホール4階）の様子

●問い合わせ先 子どもわかもの課 TEL 047(366)7464

■開催場所  
松戸地区（文化ホール4階）  
新松戸地区（青少年会館内）



中高生の居場所

### 市議会 トピックス

- 令和元年度松戸市一般会計補正予算（第1回）を可決しました。  
補正額 11億4,899万6千円
- 「平成31年度松戸市一般会計予算の大型事業に関する決議」（3月定例会で可決）に対する行政報告がありました。

※詳細は3面に記載しています。

### 6月定例会

令和元年6月定例会を6月11日から27日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された専決処分2件の報告を承認し、人権擁護委員候補者の推薦議案1件に同意しました。

このほか、市長から提出された条例などの一般議案10件、市民の方等から提出された請願5件および陳情2件を、それぞれの委員会において審査しました。最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された追加議案2件、議員提出議案7件を上程し、採決しました。

（2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載）

なお、35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

### 政務活動費 収支報告書等公開中

平成30年度政務活動費の収支報告書、領収書等を市議会ホームページで公開しております。

また収支報告書、領収書、視察報告書およびその他の使用に関する資料を議会事務局内で閲覧することができます。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課  
TEL 047(366)7381

### 政務活動費とは

議員の調査研究に役立てるため必要な経費の一部として、会派および議員に対して交付するもので、条例で定められた経費以外に充てることはできません。収支報告の際は、規程に基づく領収書（またはこれに準ずる書類）の添付が義務付けられています。

松戸市では、各会派経理責任者等で構成する経理責任者等会議において、政務活動費に関する調査研究および政務活動費を充てることのできる範囲について協議を行い、適正な運用に努めております。

# 6月定例会審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
<b>市長提出議案</b>									
第1号	専決処分の報告及び承認（松戸市市税条例等の一部を改正する条例の制定） 地方税法の改正に伴い、市民税の税額控除及び軽自動車税の税率の特例に関する規定を設けるとともに、固定資産税の減額に関する規定を整備等するため。	—	承認	全会一致	第12号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議 令和元年8月31日の香取市東庄町病院組合が解散することに伴い、本組合を組織する地方公共団体の数の減少及び本組合規約の一部を改正する規約の制定について協議する必要があるため。	総務財務	同意	全会一致
第2号	専決処分の報告及び承認（松戸市介護保険条例の一部を改正する条例の制定） 松戸市介護保険法施行令の改正に伴い、低所得の第1号被保険者に対する介護保険料を減額し、負担の軽減を図るため。	—	承認	全会一致	第13号	人権擁護委員候補者の推薦（町田達雄氏） 人権擁護委員の任期満了に備え、後任の候補者を推薦するため。	—	同意	全会一致
第3号	令和元年度松戸市一般会計補正予算（第1回） 障害児通所施設、保育園、幼稚園及び保護者の就労に伴い認可外保育施設等に通う児童のうち、非課税世帯の0歳から2歳児及び全ての3歳から5歳児を対象に令和元年10月1日から実施される保育料の無償化にかかる所要の経費の増額等措置するため。	総務財務	可決	全会一致	第14号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 国家公務員から引き続いて副市長になった者の退職手当の支給について、規定の整備を行うため。	総務財務	可決	全会一致
第4号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、投票管理者等の受ける報酬の額を引き上げるため。	総務財務	可決	全会一致	第15号	副市長の選任（山田哲也氏） 欠員となっている本市副市長を新たに選任するため。	—	同意	多数意見
第5号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴い、浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所及び浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所の設置許可申請に係る一部の審査手数料を引き上げるため。	総務財務	可決	全会一致	<b>請願</b>				
第6号	松戸市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定 自転車駐車場の一部に機械式駐車設備を設置し、当該施設において短時間無料制度を導入することにより、買い物等のために自転車駐車場を利用する市民の利便性を向上させるため。	建設経済	可決	全会一致	第1号	ゆきとどいた教育を推進するために4年生から順次35人以下学級を求める請願	教育環境	不採択	多数意見
第7号	松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定 住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の改正等に伴い、住宅用防災警報器等の設置の免除に関する事項の追加等を行うため。	総務財務	可決	全会一致	第2号	ゆきとどいた教育を推進するために市費負担臨時教職員の賃金・処遇の改善を求める請願	教育環境	不採択	多数意見
第8号	契約の締結（日暮クリーンセンター基幹改良工事） 日暮クリーンセンター設備の老朽化に伴う基幹改良工事を実施することにより、継続的に安定したリサイクル事業を展開するため。	教育環境	同意	全会一致	第3号	ゆきとどいた教育を推進するために教育施設の整備を求める請願	教育環境	不採択	多数意見
第9号	契約の締結（第3八ヶ崎こ線道路橋補修工事） 松戸市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化したこ線道路橋の補修工事を行うため。	建設経済	同意	全会一致	第4号	ゆきとどいた教育を推進するために市費負担事故対策教職員を求める請願	教育環境	不採択	多数意見
第10号	契約の変更（松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業） 整備対象教室の増加及び消費税率の引上げに伴い、空調設備の維持管理費用が増額したため。	教育環境	同意	全会一致	第5号	ゆきとどいた教育を推進するために「給食費の無償化」に向け食材費の一部補助を求める請願	教育環境	不採択	多数意見
第11号	財産の処分 養護老人ホーム松風荘跡地を売却し、市の財源を確保するため。	総務財務	同意	全会一致	<b>陳情</b>				
					第1号	市民の財産である明市民センターの跡地を残し市民の為に活用することを求める陳情	教育環境	不採択	多数意見
					第2号	常盤平地区にコミュニティバスの早期運行を求める陳情	建設経済	不採択	多数意見
					<b>議員提出議案</b>				
					第1号	消費税率10%への増税中止を求める意見書	—	否決	多数意見
					第2号	日米地位協定の見直しを求める意見書	—	否決	多数意見
					第3号	生活保護基準の引き下げ中止を求める意見書	—	否決	多数意見
					第4号	国民健康保険への国庫負担の増額を求める意見書	—	否決	多数意見
					第5号	東葛北部地域における児童相談所機能の充実を求める意見書	—	可決	多数意見
					第6号	「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書	—	可決	全会一致
					第7号	信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書	—	可決	全会一致

## 会派別一覧

会派名称および会派構成に変更がありました。  
松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

<b>松政クラブ※ 13人</b>
◎ 木村みね子
○ 桜井 秀三 ※
○ 鷹野 聡 ※
○ 中村 典子 ※
○ 大塚 健児
○ 大谷 茂範 ※
○ 大橋 博 ※
○ 鈴木 大介
○ 石井 勇
○ 箕輪 信矢 ※
○ 杉山 由祥
○ 田居 照康
○ 小沢 曉民

<b>公明党 10人</b>
◎ 城所 正美
○ 諸角 由美
○ 篠田 哲弥
○ 鈴木 智明
○ 松尾 尚
○ 岩瀬 麻理
○ 高橋 伸之
○ 伊東 英一
○ 飯箸 公明
○ 織原 正幸

<b>日本共産党 4人</b>
◎ 宇津野史行
○ 平田きよみ
○ ミール計恵
○ 山口 正子

<b>政策実行フォーラム 8人</b>
◎ 二階堂 剛
○ 関根ジロー
○ 成島 良太
○ 岡本 優子
○ 戸張 友子
○ D E L I
○ 増田 薫
○ 原 裕二

<b>無所属</b>
○ 中西 香澄
<b>無所属</b>
○ 山中 啓之

<b>市民クラブ 7人</b>
◎ 末松 裕人
○ 市川 恵一
○ 渋谷 剛士
○ 岩堀 研嗣
○ 山口 栄作
○ 深山 能一
○ 中川 英孝

**議員定数 44人**

◎ 幹事長  
○ 副幹事長  
※ 変更があった会派名称および議員

(令和元年6月27日現在)

## 議会運営委員会

委員の変更がありました。

◎ 城所 正美
○ 渋谷 剛士
○ 大谷 茂範
○ 関根ジロー
○ 伊東 英一
○ 箕輪 信矢 ※
○ 飯箸 公明
○ 木村みね子
○ 宇津野史行
○ 桜井 秀三
○ 二階堂 剛
○ 末松 裕人

◎ 委員長  
○ 副委員長  
※ 変更があった委員

(令和元年6月27日現在)

6月20日・24日・25日・27日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。

ここでは、その審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。(審議結果は2面に掲載)

※なお6月21日に開催した、健康福祉常任委員会では、議案等の審査がありませんでした。

# 委員会の審査から

## 総務財務常任委員会

議案第3号 令和元年度松戸市一般会計補正予算(第1回)

外国人に対して雇用、医療、福祉、子育て、教育など、さまざまな相談や手続きを一元化した窓口において対応することだが、どのよう

に整備、運営するのか。  
現在実施している外国人相談窓口の開設を増やし、新たに電話相談を開始する。

具体的には中国語や英語などの外国語を話せる相談員の配置や、11言語以上に対応できる多言語の通訳タブレットを

活用し、生活全般の相談や情報提供および関係機関への取り次ぎを速やかに、地域とのつながりや多文化共生社会の実現を図る。

幼児教育・保育無償化に伴い、保育所等では給食費を含め、全て無償と考えている保護者もいると思われる。このことの周知は。

国の方針で幼児教育・保育無償化に伴い、実費として給食費が徴収されることになるが、国から示された制度の概略をホームページ内にリ

ンクしているほか、広報まつど令和元年7月1日号で周知するなど、啓発に努めている。

補正予算による風疹予防接種の対象者や補助内容は、これまで定期予防接種の機会がなかった方のうち、今回は昭和47年4月2日から54年4月1日生まれの男性、約2万8千人が対象となる。

発送済みのクーポン券を使用して抗体検査を実施した後、抗体価が低い場合に予防接種を行う。また任意予防接種として、妊娠を希望する方とその配偶者が抗体検査を実施後、抗体価が低いため予防接種した場合、医療機関で支払った費用に対し償還払いにより、5000円を補助する。

## 建設経済常任委員会

議案第9号 契約の締結について(第3八ヶ崎こ線道路橋補修工事)

本契約は工事期間が2年を超える長期間であり、工事費も高額と考えるがその理由について伺う。

当該補修工事箇所は、武蔵野線をまたぐ道路橋であり、新八柱駅と新松戸駅の間に位置する。このことから、作業時間が終電後から始発までの間のみとなり、通常の約4分の1程度の時間しか作業できないため、工事期間が長

くなり工事費が割高となる。陳情第2号 常盤平地区にコミュニティバスの早期運行を求める陳情

コミュニティバス導入のルール等を定めたコミュニティバスの導入の手引きを令和元年度中に策定する予定とのことだが、今後の整備予定について伺う。

現在、中和倉地区で実証運行を行っているが、必ずしもコミュニティバスが必要とされているとは限らないことから、必ず全ての公共交通

不便地域に何らかの公共交通を導入する見通しは立っていない。今後は地域で組織を作り話し合い、日常生活で困っている点等を市へ相談いただき検討した後、その地区に最適な公共交通を地域ごとに導入する形態を考えている。

公共交通不便地域では競争するバス路線はないと考えるが、コミュニティバスの運賃の基準を民間バス路線の運賃とする理由は。

運賃は民間バス路線と同じではなく、また金額ありきでもなく、運行計画と収支見込みによって決定するものと考えられる。その際に民間バス路線と競争することがあれば配慮も必要と考える。

## 教育環境常任委員会

議案第8号 契約の締結について(日暮クリーンセンター基幹改良工事)

本契約における契約金額の妥当性をどう判断したか。

本工事は、二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金の交付取扱要領に基づき積算を行っている。しかし廃棄物処理施設はおののおオーダーメイドで設計されており、本工事に使用する特殊部品等は、積算の参考図書が存在しないことから、プラントメーカーから見積もりを徴取し、施設

等の基幹改良工事や類似工事の実績等を基にコンサルタンに査定を委託した。それにより契約金額となっているので妥当な金額と判断した。

当該施設の近くには、学校や保育所があるが、工事期間中の安全対策と近隣住民への配慮をどう考えているか。

工事期間中は、資材の運搬や工事に伴う大型車両の通行が予想されるため、安全対策を徹底していく。通学時間帯となる午前7時半から8時半、午後4時半以降の大型

車両の通行は原則禁止とする予定であるが、近隣の学校や事業所等と協議をし、改めて決定する。また使用する建設機械等は低騒音型を採用し、騒音および振動の影響が出ないよう配慮する予定である。

議案第10号 契約の変更について(松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業)

平成28年の導入時からクラス数または利用教室が減った学校はあるのか。

仮にクラス数や利用教室が減った場合についても、空調機器を撤去する考えはない。維持管理を目的に設けているため、可能な限り設置の状況のまま維持していくと考えている。

## 「平成31年度松戸市一般会計予算の大型事業に関する決議」に対する行政報告

市長から最優先で取り組む大型事業が示されたが、それ以外のその他大型事業の着手にあたり、本市行財政運営に与える影響への不安を払拭できないことから、3月定例会において「平成31年度松戸市一般会計予算の大型事業に対する決議」を可決しました。その決議の中で、将来に向けて持続可能な住みやすいまちを実現するため、その他大型事業の調査費の執行について慎重な検討の上、6月定例会までに検討結果の報告等を求めました。

本定例会において市長からこの決議に対する行政報告がありましたので、以下のとおり掲載します。

「千駄堀地区のまちづくり」については、これまで「基本構想素案」を行政案として作成し、平成30年度から地元とまちづくりについての説明会や意見交換を行ってきた。今後のまちづくりを行う上で最も大切である地元におけるまちづくりに対する意向を調査するために、勉強会や意見交換会を実施し、あわせてこの地区におけるまちづくりの方向性を検討するための一つの指標を設定するために事業効果検証業務を実施することを検討している。令和2年度以降に地権者の意向状況や事業効果の検証を踏まえ、業務実施の判断をしたいと考えている。

「矢切観光拠点」については、平成31年3月に都市計画決定が行われたことから、都市公園をまずは整備したいと考えている。

令和元年度の公園整備は、計画どおり用地確保や水路の暗渠化に取り組んでいく。

これらの大型事業については、本市の財政状況を鑑み、議員の方々や地元の意見を伺い慎重に検討を重ねていく。

なお決議の中で進捗状況の報告を求められていた「新庁舎移転建て替え」と「新松戸駅東側地区土地区画整理事業」については、承認いただいた予算を着実に執行していくとともに、その進捗については、今後、随時報告していく。

# 一般質問

6月定例会では、6月12日・13日・14日・17日・18日の5日間にわたり、35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。  
※会派等の記載は、一般質問を行った時点としています。

## 公共工事の平準化について

公明党

鈴木 智明

問 公共工事の平準化は機械や人手不足による工期の遅れや短縮、長時間労働を防ぐことで現場の安全確保といったメリットがあり、入札不調等への対策としても有効と考える。国土交通省では、2カ年国債やゼロ国

債の設定等、平準化の推進に取り組んでいる。本市でも公共工事の平準化に取り組む必要があると考えるが、市の見解を伺う。  
答 公共工事の平準化は、予算編成の取り扱いや財源確保、事業担当課の業務量、工事施工箇所の地元との調整等の課題はあるが、関係部署と調整を図り、実施できるところから導入を検討していく。



## テラスモール松戸の映画館をチーパスの協賛店へ

政策実行フォーラム

関根 ジロー

問 チーパスは千葉県が県全体で子育て家庭を応援するため実施する事業で、子育て家庭が協賛店でチーパスの優待カードを提示すると割引等の子育て応援サービスを受けられる。開業予定のテラスモール松戸に

する映画館が協賛店となるよう県に対し働きかけはできないか。  
答 本市のチーパス受取窓口は子育て支援課、各支所等だが、3年ごとの更新時期には市内保育所、幼稚園、小中学校等に配布し保護者への周知に努めている。本市では子育て家庭応援のため、当該映画館を含め大規模な商業施設の開設時には県へ情報提供していく。



## 子どもの移動経路の安全確保は

公明党

篠田 哲弥

問 保育所等の散歩ルートの安全確保と通学路の危険箇所の総点検の実施について伺う。また学校安全計画が未策定の学校における策定促進について伺う。  
答 昨今の痛ましい事故を受け、市内の保育施設に対し散歩

時の対応を含めた園外活動状況調査を実施し、安全確保の体制について再度の確認を依頼した。また通学路では、松戸市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路合同点検を毎年実施している。学校、道路管理者、警察等関係機関が参加し、小学校から出された危険箇所の状況を確認した上で、さまざまな安全対策を講じている。学校安全計画については、本市では未策定の学校はない。

## 安全・安心なまちづくりについて

公明党

岩瀬 麻理

問 馬橋立体入り口交差点の渋滞緩和対策および安全対策としての歩道拡幅について、市の見解を伺う。  
答 北松戸方面の産業道路から国道6号に向かうために馬橋立体入り口の交差点を右折する

車は、対向車線の直進車や左折車が多いことから右折に時間を要し、時間帯によっては交通渋滞が発生することがある。また交差点の西側の歩道は、その前後の歩道に比べて幅員が狭くなっており、歩行者のすれ違いが困難になるなど、不便を掛けている。今後、歩道の拡幅や右折レーン滞留長の延伸など、交通管理者と協議を行いながら、渋滞対策や安全対策について、調査・研究を行っていく。

## パートナーシップ制度について

政策実行フォーラム

岡本 優子

問 LGBTに続き、最近、性的指向と性自認の意味としてSOGI（ソジ）と表現されている。SOGIへの理解を示し、また事実婚にも目を向けるため、多様性の在り方を認め合うパートナーシップ制度の導入を進め

る考えはあるか伺う。  
答 本市におけるパートナーシップ制度に対する取り組み状況は、人権施策の一環として、市民向け・職員向けに性的マイノリティの方々に対する理解を深めるため、講演会・研修会を実施している。また事実婚についても、多様性を尊重する社会の必要性を十分認識しており、性的マイノリティと併せて今後も引き続き検討していく。

## 地域包括支援センターの事業評価について

政策実行フォーラム

成島 良太

問 評価の高い地域包括支援センターが、さらに伸びるような配慮について伺う。  
答 事業評価の目的は地域包括支援センターが業務を自己評価し、行政が確認作業することにより、機能強化を図ろうとす

るものである。最善の方法は、他の地域包括支援センターを参考に、自らの機能強化ができるよう横展開することが重要であり、評価が高いところはより良く、低いところは良くするため改善を図る必要がある。15カ所の地域包括支援センターが良きパートナーとして、地域共生社会を支える地域の相談窓口として、その機能を最大限発揮できる環境づくりを進めることが行政の役割と認識している。

## いじめを受けた児童生徒の権利について

政策実行フォーラム

増田 薫

問 いじめを受けた児童生徒が学校に行けなくなり、義務教育を受ける権利を行使することができない、あるいは学校に復帰できないまま卒業せざるを得ない実態がある。これらの児童生徒の権利をどう擁護し、救済

するのか。また学校現場ではどのように対応しているか伺う。  
答 いじめは絶対に許されなという強い認識のもと、いじめられている子どもの立場に立った指導を行い、担任や関係のある教員から丁寧に話を聞き、本人の意向を尊重しながら問題解決に取り組んでいる。教育現場では、各学校で組織される「いじめ防止等の対策のための組織」において、緊急会議を実施し、対応策を検討している。

## 公共施設へのナッジ導入について

まつど市民

鈴木 大介

問 市民ニーズの多様化・高度化が進む中、政策実行にあたり限られた資源から最大限のアウトプットを生み出すことの重要性が高まっている。ナッジとは、個人の意思決定の自由を尊重し、少ない財政コ

ストで社会的により良い選択を可能にする行動経済学の手法の一つであるが、本市でも公共施設へのナッジ導入の見解を伺う。  
答 ナッジを取り入れる動きは、ここ数年で強まっているが効果が持続しにくく、ナッジ単体では効果が弱くなるなど、課題を指摘する声もある。今後政策効果の向上を目指し、ナッジ等さまざまな知見について、国や自治体の動向を注視しながら調査・研究を進めていく。

旧市立病院跡地について

まつど市民

小沢 曉民

問 旧市立病院跡地に係る各業務の進捗状況は。また売却手法をプロポーザルとした経緯と経過について伺う。

答 土壌状況調査、土地測量や不動産鑑定等の必要な業務委託も既に着手し、順調に進めて

いる。また売却については、1号館から4号館までの病院本体、5号館の臨床研究棟およびレントゲンフィルム保管庫の3カ所は、地元から跡地に医療施設誘致の要望があり、そのことに配慮した事業提案と、病院事業が期待する買い取り価格を評価し、最優秀提案事業者を決定するプロポーザルが適切であると判断した。なお本件は病院事業の重要課題と位置付け、スピード感を持って取り組んでいく。

環境問題について

公明党

高橋 伸之

問 プラスチックごみ対策は企業や消費者を巻き込むことが欠かせない取り組みとなっている。本市でもプラスチックごみ削減の取り組みをより積極的に行うべきと考えるが見解を伺う。

答 プラスチックごみの発生

抑制では、ごみ減量作戦等さまざまな機会を通してごみにしない、ごみを増やさない、適正に分別し排出するようお願いし、ごみ量は減少している。令和元年度はリンクル推進員の説明会を予定し、発生抑制、再利用、再生利用の3Rの取り組みの必要性を意識し、マイバック持参や簡易包装等、環境に優しい生活様式へ見直す機会になるよう展開していきたい。



ごみ出しが困難な方への支援について

公明党

松尾 尚

問 松戸市家庭ごみ訪問収集事業の対象要件の拡大について伺う。またごみ出し困難者への支援は、地域ごとにさまざまな方式でモデル事業を展開し、本市に適した制度を検証すべきと考えるが見解を伺う。

答 家庭ごみの訪問収集は、現在ケアマネジャー等からの申し入れにより、要介護度が要件に達しない場合でも、ごみ出し困難者と認められる場合には個別収集をしている。さらに利用しやすい制度とすべく、要件緩和等を安否確認等の福祉の視点も加え見直したいと考える。ごみ出し困難者への支援は、他市町村の事例も参考に、課題を整理・研究しつつ本市に適した制度の実現に向け検討していく。

ワクチン接種について

公明党

飯箸 公明

問 小児がん治療や骨髄移植などを受けて、免疫が消失した未成年の方へのワクチン再接種に助成する考えはあるか、市の見解を伺う。

答 本市では、これまで骨髄移植や抗がん剤治療により免疫

が失われたことによるワクチン再接種についての問い合わせはないが、抗体のない状態で麻疹や水痘などの感染症に罹患すれば重症化する危険性があることから、ワクチン再接種が必要であり、経済的な負担があることも認識している。治療後、免疫が消失した方へのワクチン再接種の助成について、国の動向を注視しながら検討していく。



視覚障害者支援について

公明党

城所 正美

問 盲導犬など補助犬の理解を深めてほしいとの目的で、特別住民票を交付している自治体がある。視覚障害者や盲導犬への正しい理解が広がり心のバリアフリーが進むことを願い、本市でも、多くの市民に補助犬の

存在と役割について理解を深めてもらうため、特別住民票を交付する考えはあるか伺う。  
答 補助犬への特別住民票の交付は、埼玉県坂戸市や吉川市が実施している。  
補助犬に対する特別住民票の交付は、障がいのある方のパートナーとして補助犬の存在を広く知ってもらうため、市内に住んでいる補助犬ユーザーの方の意向を踏まえながら、前向きに取り組んでいきたい。

SNS相談窓口について

公明党

諸角 由美

問 子どもたちが利用しやすい安心して悩みを相談できるように、他の自治体で取り組んでいるLINEを利用した相談体制を本市においても導入する考えはあるか伺う。

答 SNSを活用した相談体制は、顔や声を介さないツールの利用という現代の子どもたちのニーズに合致している。年度初めや長期休業明けなど子どもたちが悩みを抱えやすい時期により相談しやすい体制を整えていくことは、教育委員会としても重要なことと認識している。今後も深刻な悩みや複雑な事情を持つ子どもたちに対する相談体制の拡充に向け、他の自治体等の動向を注視しながら、関係部署と連携していく。

教科書採択について

まつど市民

大塚 健児

問 神奈川県横浜市では教科書採択1年前から月1回自主的な意見交換会等実施していたようである。本市でもさまざまな角度から意見交換をするため教育委員を集め、月1回勉強会・意見交換会を開催する考えは。

答 教科書採択にあたり本市、野田市、流山市の3市を採択地区とし、東葛西部採択地区協議会を設置している。採択地区協議会が採択した結果を受け「松戸市立小中学校使用教科書に関する採択の方針」に基づき、各社教科書の理解を深めた上で、本市教育委員会会議にて採択しているため、法令順守の上、適正かつ公正な採択がされると認識している。



小中学校屋外プールの今後のあり方は

まつど市民

木村 みね子

問 全国の小中学校で、老朽化に伴う改修や維持管理の費用負担が大きいため、屋外プール廃止の動きが広がっている。安全確保や維持管理の人的負担軽減のためにも、水泳授業に民間スイミングクラブ等を活用す

る事例もあるが、本市の考えは。  
答 市内小中学校のプールの多くは老朽化により改修・修繕が必要であり、効率的な老朽化対策が求められている。水泳授業の外部委託はコストの抑制等大きなメリットはあるが、プールまでの移動手段や移動時間等の課題もある。  
先進的事例を注視しつつ、さまざまな方法を研究していく。



たばこの分煙対策について

まつど市民

田居 照康

問 喫煙可能な施設が減ることから駅頭における喫煙所の必要性が高まるが、再設置の意向は。また公共施設の敷地内禁煙について市の考えを伺う。

答 松戸駅周辺等、重点推進地区駅周辺で、受動喫煙対策に配慮した喫煙所の設置が可能な場所を検討しているが現時点では喫煙所の設置は非常に難しい。また市が所管する多くの公共施設において令和元年7月1日から敷地内禁煙を実施するが、市としては法律に定められた範囲で、望まない受動喫煙をできる限りなくすることが責務である。施設利用者や施設周辺住民からの意見などを踏まえ、対策の見直しが必要な場合には、再検討していくことも考えている。

### 次期総合計画の策定について

公明党

織原 正幸

問 今後、策定される松戸市総合計画については、主要な大規模事業の実施スケジュールと事業規模のイメージをどのように示し、市民と議会の理解を得ていく努力を進めていくのか、本市の見解を伺う。

答 次期総合計画の策定については、令和2年12月定例会に計画案を議案として提出する予定で現在進めている。今後、議案提出に至るまでの過程については、市民の代表である議会に進捗状況を報告し十分に意見交換を行い、連携を密にするとともに、パブリックコメントなどを実施することにより、市民の皆さまならびに議員各位に理解してもらえらるよう、計画案を策定していく。

### 市立総合医療センターのリハビリテーション医療

みらいクラブ

箕輪 信矢

問 市立総合医療センターにおけるリハビリテーション医療に関する現状の取り組みや今後の計画について伺う。

答 入院中の患者を対象に、日常における生活動作能力の維持および運動機能の回復を図り、

早期の社会復帰を目的にリハビリテーション医療に取り組んでいる。特に手術前後の急性期リハビリに対し、理学療法士、作業療法士や言語聴覚士等が、患者にとつて最善となるリハビリ方針を設定し、訓練を提供している。リハビリテーション医療のさらなる充実として、令和元年秋頃を目的に、土曜リハビリの実施に向け、理学療法士等の確保や、診療体制を整える準備を進めている。

### オレンジ声かけ隊 オレンジ協力員の取り組みは

政策実行フォーラム

戸張 友子

問 高齢者見守りシールの周知やオレンジ声かけ隊およびオレンジ協力員拡充の取り組みに対する市の見解は。

答 高齢者見守りシールは、本人情報をQRコードに設定し、万一行方不明になった際には、

発見者がQRコードを読み取ることで家族等に通知され発見に至るものである。周知については、広報まつどや認知症サポートリーフレットへの掲載とともに、支所や駅など、市民の方が見やすい場所へのチラシの配架など、周知徹底に努めていく。今後も、認知症サポート養成講座においてオレンジ協力員の活動状況を紹介し、登録者数を増やしていく。



### 都市計画マスタープランでの矢切の耕地は

日本共産党

ミール 計恵

問 現在改定中の松戸市都市計画マスタープランにおいて、矢切の耕地をどう位置づけ、松戸駅周辺まちづくり委員会の答申をどう反映させるのか伺う。

答 都市計画マスタープランは改定中のため、現在の検討状

況は答えられないが、現行では、矢切の耕地を含めた矢切地域は「斜面林、農地、江戸川・坂川などの良好な資源に恵まれながら、古くから住宅地として発展してきたことをふまえ、今後こうした良好な環境を維持していくことを基本とします」と記載されている。今後は答申の趣旨を含めて関係各課と連携し、さまざまな意見を踏まえ検討を進めていく。



### 小規模保育施設の代替保育の提供について

政策実行フォーラム

DELLI

問 小規模保育施設における代替保育の提供に関し、今後小規模保育施設同士の連携が必要になった場合には、報告の義務付け、子どもの健康状態やアレルギーなどの情報の共有化、代替保育の受け入れ資格の条件な

どについて、実施要項などへ規定することも含め検討することだが、その進捗状況について伺う。

答 現時点において小規模保育施設同士の連携は考えていないが、連携することになった場合に活用できるよう、報告の義務付けや子どもの健康状態の共有化などを含め、具体的な内容や水準を示すガイドラインの作成について準備を進めていく。

### 高齢者支援制度について

市民クラブ

深山 能一

問 神奈川県横須賀市で実施しているエンディングプラン・サポート事業や終活情報登録伝達事業について市の考えを伺う。

答 本市では、横須賀市が行うひとり暮らしで身寄りがない方等、葬儀・納骨などに関する

ことをあらかじめ解決し生き生きとした人生を送るエンディングプラン・サポート事業や市民の方があらかじめ用意しておいた終活関連情報を生前に登録し、万が一の時に本人が指定した方に開示するなど本人の意思を支援する伝達事業は行っていない。本市の社会福祉協議会では、死後事務委任契約に特化したサポートに加え、生前の生活相談等、保証人に代わる保証機能を含んだ生活支援事業を検討している。

### 道路振動対策について

日本共産党

宇津野 史行

問 東松戸一丁目の道路振動対策として、大型車両の進入禁止の早期実現に向け、市として千葉県警察に対し文書の提出等働きかける考えは。

答 当該道路では、これまで道路管理者が対策工事を実施し

たほか、松戸南郵便局と松飛台工業会の協力を得て大型車両の輸送ルートを変更するなど、さまざまな対策が進められてきたが、さらなる対応を要する箇所であると認識している。県警に大型車両の進入規制を要請するためには地元住民の意向が第一であり、町会の声がそろい、要望としてまとまることを待ちたい。本市からの働きかけとして、要望の内容を警察へ、書面により情報提供したいと考えている。

### 公共施設再編整備基本計画について

日本共産党

平田 きよみ

問 松戸市公共施設再編整備基本計画のパブリックコメントに、164件の意見があったが、計画には大きな変更がなかった。本市として市民からの意見をどう捉えたのか見解を伺う。

答 パブリックコメントに多くの意見をいただき、公共施設再編に対する市民の関心の高さを改めて認識した。意見の多くは、個別施設への要望や具体的な施設の統廃合についての反対等であり、本計画が人口減少や少子高齢化が進む中で、公共施設の適正配置・適正規模を実現するための方向性を示すものであることから、計画の変更には至らなかったものである。なおいただいた意見は、関係部署と情報の共有化を図っている。

### より良いPTAについて

無所属

中西 香澄

問 PTA運営に行政が積極的に関わる動きが全国的に広がっているが、本市でもPTAについて話し合う検討会を設置し、組織、運営のガイドラインを示してはどうか考えを伺う。

答 本市ではPTAとの関わり

方に制約はあるが、子どもの健全育成と安心・安全の確保には、PTA活動をはじめ地域の方々との連携は不可欠であるとの認識から「PTA活動を円滑に進めていくために」との表題で「保護者からお尋ねいただく主な内容」を紹介した文書を各PTA会長宛てに配布した。今後も他市の事例も注視しながら対応していきたい。



放課後児童クラブの運営について

無所属

山中 啓之

問 放課後児童クラブの運営に  
関し、国の基準が緩和され、  
各自自治体が条例で定められるよ  
うになったが、利用者からの意  
見や意思を十分に反映させてき  
たか。また独自カリキュラム等  
の導入について、市はどのよう

な基準で関与するのか。

答 児童の安全を第一とし、  
面積基準を満たすべく関係機関  
等と連携し施設確保に取り組ん  
でいる。また法人裁量の範囲に  
ついては安全性や公平性に配慮  
し、事業者の特色を出した運営  
をしていただいている。

今後、保護者からの意見等  
も取り入れながら  
質の確保・向上を  
図れるよう、事業  
を推進していく。



スクールソーシャルワーカー配置について

政策実行フォーラム

二階堂 剛

問 スクールソーシャルワ  
ーカー配置拡大になった要因は。  
また取り組みの現状および成果  
について、本市の考えを伺う。

答 本市では相談件数が年々  
増加しており、千葉県による配  
置だけでは支援が行き届かない

と判断したことから、平成29年  
度より本市独自の固定配置型の  
事業を行い、令和元年度に3年  
目を迎える。今後、市内全域に  
支援を広げることを視野に入れ、  
固定配置だけではなく、派遣型  
での支援体制を検証しスクール  
ソーシャルワーカー事業の体制  
構築を目指していく。また不登  
校の児童生徒に対し、アウトリ  
ーチ型で保護者等に支援を行う  
ことで登校できるようにした  
ケースを成果として捉えている。

産婦健康診査の費用助成について

日本共産党

山口 正子

問 産後うつや乳幼児虐待の  
予防を図るため、産後早期の支  
援として、産婦健康診査の費用  
助成を求めてきたが、本市の考  
えを伺う。

答 産婦健康診査の費用を助  
成し、産後の初期段階における

支援の充実を図ることは、重要  
であると認識している。平成30  
年度から市内産科医療機関へ産  
婦健康診査の実施について意見  
をいただいております。妊娠期から  
の切れ目ない支援の情報共有を  
図っている。今後も先進自治体  
の動向を注視しつつ、産科医療  
機関と連携した産婦支援の方法  
も含め、産婦健  
康診査の費用助  
成について検討  
していく。



ふるさと納税制度について

政策実行フォーラム

原 裕二

問 寄附額を増やすため、静  
岡県焼津市の「がん検診の受診  
券」のように特色あるサービス  
を返礼品とすることも必要と考  
えるが、どのような返礼品の追  
加を考えているのか見解を伺う。

答 寄附額を増やすためには、

記念品のバリエーションを充実  
させる必要があり、その戦略と  
して、サービス提供型記念品、  
体験型記念品、希少性や品質が  
高い高額記念品、本市をPRで  
きる記念品に分類して進めてい  
る。「健康医療都市」を掲げる  
本市としては、専門性の高い医  
療を提供する各病院の協力によ  
り「人間ドック」を記念品とし  
て導入する等を検討している。

NHK受信料について

無所属

中村 典子

問 公用車のワンセグ機能付  
きカーナビの設置台数および契  
約状況は。また生活困窮者から  
寄せられるNHK受信料に関す  
る相談への対応について伺う。

答 企業会計所管分を除く公  
用車、消防車、救急車、青色回

転灯装着車両の全395台のう  
ち4台にワンセグ機能付きカー  
ナビが設置されており、NHK  
と放送受信契約を締結している。  
生活困窮者への対応について  
は、生活困窮者の相談窓口とし  
て設置している松戸市自立相談  
支援センターには、平成30年度  
はNHK受信料に関する相談は  
なかったが、相談があった場合  
は、NHKふれあいセンターや  
営業センター等の問い合わせ先  
を案内することになる。

ひきこもり支援について

市民クラブ

岩堀 研嗣

問 ひきこもりサポーター養  
成研修と派遣事業への取り組み  
状況は。またひきこもり相談窓  
口および居場所支援について、  
千葉県のひきこもり支援センタ  
ーと連携を図り、各種支援制度  
を積極的に活用すべきと考える

が、市の見解を伺う。  
答 本市では、各担当部署、  
関係機関が連携し、相談等の支  
援を行っているが、サポーター  
の派遣には至っていない。関係  
機関や福祉まるごと相談窓口で  
専門職が相談に傾聴することで、  
ひきこもりの実態把握やそれぞ  
れの機能の評価につながると思  
えており、しばらく時間が必要  
である。その上で、次のステッ  
プとして事業導入の環境整備が  
図られるものと考えている。

病院事業の経営について

みらいクラブ

鷹野 聡

問 平成30年度の診療科目ご  
との実績について金額および患  
者数について伺う。

答 病院事業の経営改善にあ  
たり、収益や費用の分析を含め  
た経営管理の強化は必要不可欠  
と認識しており、診療情報管理

士を中心に診療科ごとの分析に  
取り組んでいる。金額について  
は診療科別の収益が直接、診療  
科ごとに賦課できる費用が少な  
く、共通係費の配賦基準など、  
按分方法の設定次第で算出結果  
が大きく異なる可能性がある。  
診療科ごとの収支は、組織内部  
の業績評価や業務改善を目的と  
して活用しており、現状では外  
部へ公表することは難しいと考  
える。患者数は、松戸市病院事  
業概要により毎年公表している。

市役所移転、新築について

みらいクラブ

桜井 秀三

問 市役所移転候補地につい  
て①相模台公園は存続するか②  
駐車場予定地の地権者等との話  
し合いの状況は③松戸中央公園  
に至る上り坂道路の両面通行が  
6年2カ月でできるのか④地質  
調査の結果について伺う。

答 ①新拠点ゾーンの土地利  
用計画を検討中のため公園の存  
続は言及できないが、みどりは  
大切な空間構成の一つと認識し  
ている②駐車場予定地の民有地  
は候補地の一つであり、権利者  
の意見を伺い検討を深めている  
③道路を拡幅し一方通行を相互  
通行とすることを検討中で、工  
期などは今後の進捗にあわせて  
算定していきたい④調査中であ  
るが、洪積層の安定した良質な  
地盤であると認識している。

松戸市図書館整備計画の具体的な方策は

みらいクラブ

大橋 博

問 東松戸の複合施設に入る  
図書館は、地域館として建設さ  
れるとのことだが、具体的にど  
のような機能を備えるのか。

答 東松戸に計画している図  
書館は、本市初の地域館として  
整備する予定である。この地域

館は、交流機能を持つ地域の中  
核としての役割を果たすことも  
に、これまでの貸し出しを中心  
とした図書館から滞在型の図書  
館として新たな機能を担う予定  
である。東部地区だけでなく、  
五香・松飛台地区など広い地域  
の方に利用してもらうことで、  
地域の図書文化の中核をなす施  
設として期待している。この地  
域館の整備により、松戸市図書  
館整備計画の描く図書館像の実  
現に近づくと考えている。

### 9月定例会の開催予定

令和元年松戸市議会9月定例会は、9月2日(月)から9月30日(月)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。  
請願・陳情は、8月22日(木) 正午が提出期限です。

日程	主な内容
9月2日(月)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
3日(火)	本会議(一般質問)
4日(水)	〃(一般質問)
5日(木)	〃(一般質問)
6日(金)	〃(一般質問)
9日(月)	〃(一般質問・議案質疑)
11日(水)	総務財務常任委員会
12日(木)	健康福祉常任委員会
13日(金)	教育環境常任委員会
17日(火)	建設経済常任委員会
18日(水)	決算審査特別委員会(健康福祉分科会)
19日(木)	〃(教育環境分科会)
20日(金)	〃(建設経済分科会)
24日(火)	〃(総務財務分科会)
26日(木)	〃
30日(月)	本会議(議案等の採決)

※このほか随時委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページでご確認ください。

### 議員の寄附行為の禁止

政治家(後援団体)が選挙区内の人に、おみや物を贈ることは法律で禁止されています。  
また有権者が政治家に寄附を求めるとも禁止されています。  
たとえば:

- お祭りや運動会など地域の行事への寄附や差し入れ(催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合は除く)
- お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- 年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状(答礼のための自筆は除く)

※地域で行われる行事等で、会費や実費の伴うものを案内する場合は、会費を必ず明示して通知してください。

### 意見書3件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 東葛北部地域における児童相談所機能の充実を求める意見書
- 「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書
- 信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書

### 人事案件

副市長の選任および人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。(敬称略)

- 副市長 やまだ てつや 山田 哲也
- 人権擁護委員候補者 まちだ たつお 町田 達雄

### 選挙管理委員および同補充員を選出

選挙管理委員および同補充員を選出しました。(任期4年・敬称略)

- 選挙管理委員 いぬま まこと 飯沼 允 やすだ ひでこ 保田 秀子 ゆあさ たかお 湯浅 隆雄 やまぐち つとむ 山口 勤
- 選挙管理委員補充員 いしづか きくお 石塚規矩夫 おかもと のぶこ 岡本 暢子 むろい かずよし 室井 一義 せいみや みつる 清宮 満

### 表彰

全国市議会議長会の定期総会において、議員在職40年以上および20年以上の方がそれぞれ表彰の栄に浴されました。  
また全国市議会議長会の地方行政委員会委員としての功績により、感謝状が贈呈されました。

特別表彰(在職40年以上)

谷口 兼前議員

特別表彰(在職20年以上)

桜井 秀三議員  
田居 照康議員  
平林 俊彦前議員

感謝状

深山 能一前議長  
山口 栄作議長

### 声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。

- 問い合わせ先 松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)  
TEL 047(383)7111  
住所 松戸市五香西3-7-1



### マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。

詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

### 市議会の情報をホームページで公開しています



本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。  
インターネット放映アクセス件数44万4,386件(平成17年6月開設~令和元年6月末)

### 編集の窓

第20期議員も3回目の定例会を終えました。今定例会は近年になく多くの議員が一般質問に立ちました。大変良いことだと思います。さらに質問内容も多岐にわたり、交通安全から自分らしく生きる権利、ひきこもり、高齢者など市民の実態を取り上げたものが多くありました。

私たち議員は常に市民の立場に立ってその声を議会に届け、市政を動かしていくということが求められています。そのやりとりの一端をこの議会だよりでご報告いたします。紙面だけではお伝えしきれないことがたくさんあります。ぜひ傍聴にもお越しください。お待ちしております。

### 広報委員会

委員長 大塚 健児  
副委員長 松尾 尚  
委員 尾計 恵  
委員 野村 聡

大塚 健児  
松尾 尚  
尾計 恵  
野村 聡  
中村 典子  
原田 優子  
篠田 弥子  
岡本 裕二  
伊東 英一  
石井 英一  
渋谷 剛  
市川 恵一

※変更があった委員

### 議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員がどのような活動をしているか、議会を傍聴にいらっしやいませんか。

- 問い合わせ先 市議会事務局庶務課  
TEL 047(366)7381

次回発行予定は11月1日(金)です